

はしがみ 議会だより

No.41

5月号(May)

暮らし人
地域を豊かに



～津波防災パレード～

3月8日に階上町消防団第4分団と道仏少年消防クラブの子どもたちが、昭和8年3月3日に起きた昭和三陸大津波の教訓を伝えようと町内でパレードを行い、防火や防災を呼びかけました。



三陸復興国立公園
みちのく颯風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 第1回定例会

一般会計予算
1.0%減 56億7千万円

05 ここが聞きたい

3議員が一般質問

09 質疑あれこれ

元年度及び2年度
一般会計・特別会計

12 議会活動

第1回 3月定例会

令和2年第1回定例会を3月4日開会し、3月11日閉会しました。今回の議会では、条例の一部改正8件、補正予算6件、新年度予算6件、その他4件、計24件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。



4項目の 重点施策

施政方針

町民サービスの向上
持続可能な町政運営

1 地域の再生と 産業振興

○はしかみハマの駅あるでい
くばを含めた観光4施設の
連携を図り、海と山の循環
型観光産業を推進する。
○青森県立八戸水産高等学校
との官学連携による町の魚
「アブラメ」の認知度の向
上、販路拡大への取り組み
を加速させ、産業の成長と、
地域の活性化に繋がる施策
を展開する。

2 快適で安心な 生活促進

○中学生までの医療費助成。
季節性インフルエンザ任意
予防接種に要する費用の一
部を助成。
○移住・定住・子育て・若年
夫婦支援に重点を置いた新
築応援プロジェクト事業補
助金に予算配分。
○庁舎内への冷暖房設備の設
置。
○コンビニエンスストアなど
での町税納付の開始。

3 健康増進と 福祉の向上

○「健康長寿のまちづくり推
進事業」により、「健康五つ
星 実践事業教室」や「健
康フォーラム」を開催し、更
なる健康増進の見える化と
福祉の向上に取り組み。

4 未来へつなぐ まちづくり

○「協働のまちづくり支援事
業費補助金」や「地区計画
推進交付金」による助成を
行うなど、より一層の協働
のまちづくりの推進に努め
る。
○立地適正化計画の策定と都
市計画マスタープランの見
直しに係る費用の予算配分
を行い、町民生活の質の向
上と地域社会の活性化を目
指す。
○「生涯学習まちづくり推進
計画」を策定し、町民の皆
様が生涯にわたる学びを通
じて、より豊かな生活とな
るためのまちづくりに向け
て取り組む。

一般会計予算

町税1・4%増10億3666万円

総予算 91億73万円

一般会計予算 56億7000万円
特別会計予算 34億3073万円

▽令和2年度一般会計予算

予算総額は、56億7千万
円で、前年比1・0%、6
千万円の減。

歳入(収入)の主なもの

【町税】 前年比1・4%増
の10億3666万円。

【法人事業税交付金】 法人
事業税交付金200万円。

【地方交付税】 前年度と同
額の21億3千万円。

【繰入金】 前年比16・0%
減の4億742万円。内訳

は、財政調整基金から4億
721万円、東日本大震災

復興基金から21万円。

【町債】 前年比19・7%増
の3億7420万円。

歳出(支出)の主なもの

【総務費】 庁舎エアコン整
備に係る経費1億7160

万円、町制施行記念事業費
166万円、小舟渡集会所

整備事業費21万円、移住・
定住新築住宅支援事業費補
助金2440万円等。

【民生費】 自立支援給付費
3億305万円、後期高齢

者医療療養給付費負担金1
億2545万円、子どもの
ための教育・保育給付費4
億8791万円等。

【衛生費】 各種予防接種委
託料3384万円、住民検

診委託料3162万円等。

【農林水産業費】 農業次世
代人材投資資金1125万

円、階上地区水産物供給基
盤機能保全事業費4010

万円、階上アブラメプラン
ド化推進事業費348万円

等。

【商工費】 三陸復興国立公
園維持管理委託料757万

円等。

【土木費】 耳ヶ吠・追越線
外舗装補修工事9810万



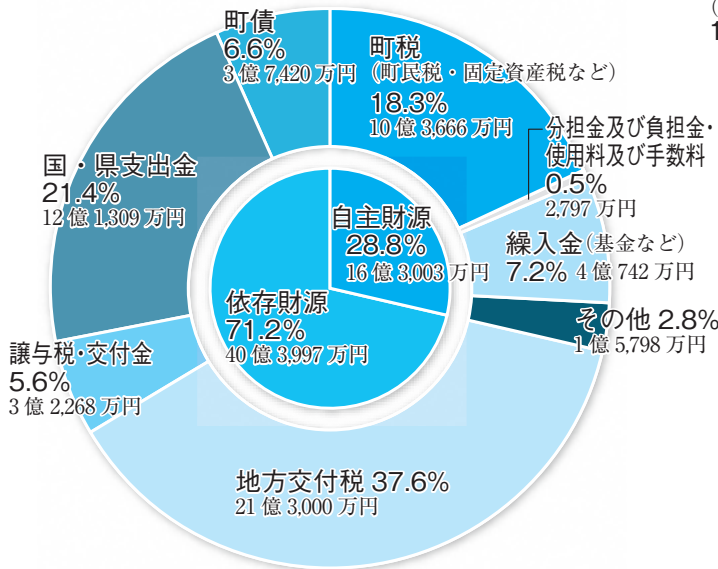
新年度予算可決

令和2年度一般会計予算

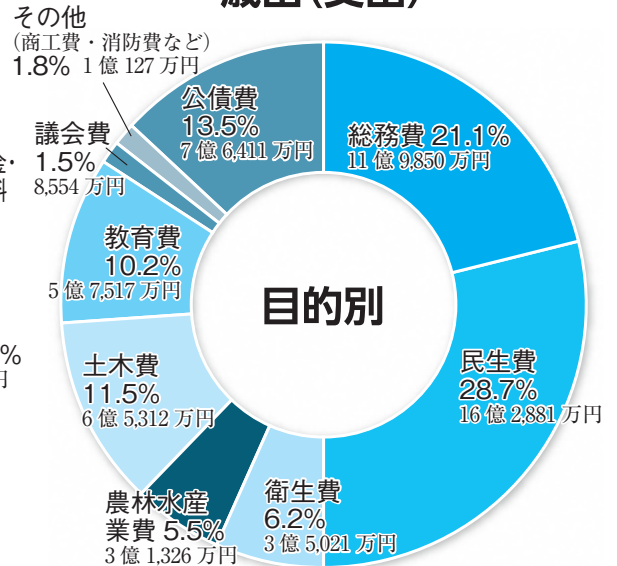
56億7千万円

一般会計予算

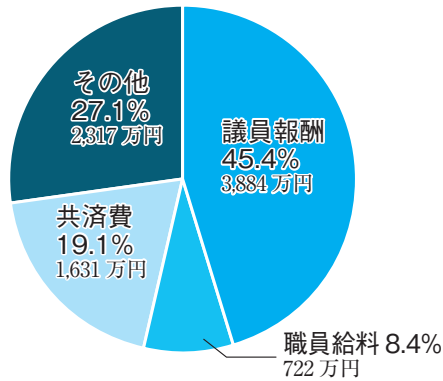
歳入(収入)



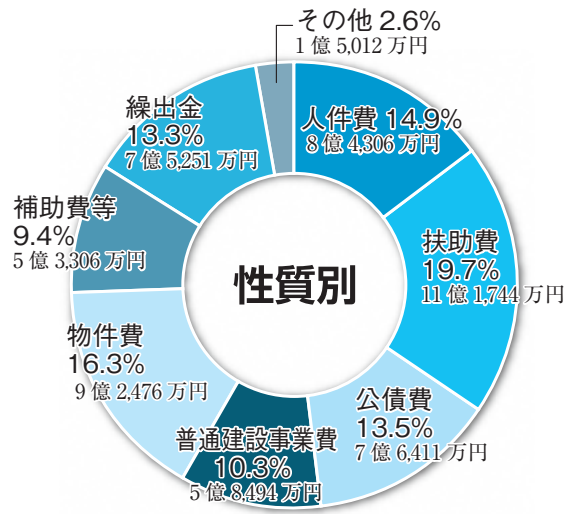
歳出(支出)



議会費 8,554万円



性質別



令和2年度 一般会計・特別会計予算額

会計名	令和2年度	令和元年度	差し引き増減額	増減率(%)	
一般会計	56億7,000万円	57億3,000万円	△ 6,000万円	△ 1.0	
特別会計	国民健康保険	15億3,305万円	15億4,713万円	△ 1,408万円	△ 0.9
	介護保険	13億5,659万円	13億3,929万円	1,730万円	1.3
	後期高齢者医療	1億5,866万円	1億1,888万円	3,978万円	33.5
	漁業集落排水事業	5,406万円	4,313万円	1,093万円	25.4
	公共下水道	3億2,838万円	3億2,018万円	820万円	2.6
	小計	34億3,073万円	33億6,861万円	6,213万円	1.8
合計	91億73万円	90億9,861万円	213万円	0.0	

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

主な新年度事業

令和2年度新規事業の一部を紹介します。
当初予算の主要施策説明書は町のホームページでご覧になれます。(URL <https://www.town.hashikami.lg.jp>)



皂角子橋測量設計委託料
1,005万円

(右) 暑さ対策及び老朽化したボイラーによる床暖房を廃止し、冷暖房機能を搭載したエアコンを設置する。

(左) 老朽化による架替が必要とされた皂角子橋の更新事業費。



庁舎エアコン設置事業
1億7,160万円

条例の改正・その他

■条例の一部改正

▽**階上町固定資産評価審査委員会条例の一部改正**

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うための一部改正。

昭和61年建築の第3分団屯所の移転新築に係る事業費。



第3分団屯所移転新築事業
505万円

▽**災害用慰金の支給等に関する条例の一部改正**

災害用慰金の支給等に関する法律及び災害用慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、貸付けの償還等について所要の改正を行うための一部改正。

▽**非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正**

地方自治法の一部改正に伴い、条文の整理を行うための一部改正。

▽**職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正**

会計年度任用職員制度の創設に伴い、同職員の宣誓方法について所要の改正を行うための一部改正。

▽**階上町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正**

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うための一部改正。

▽**階上町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の参酌基準化に伴い、本町の実情に応じ、放課後児童みなし支援員の経過措置期間を1年間延長できるように所要の改正を行うための一部改正。

▽**階上町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正**

住居地特例に係る高齢者の医療の確保について、所要の改正を行うための一部改正。

▽**階上町営住宅設置及び管理条例の一部改正**

民法の一部改正に伴い、不正入居者に対する請求額の算定に用いる利率の変更、連帯保証人の人数見直しについて所要の改正及び条文の整理をするための一部改正。

■その他

▽**字の区域の変更について**
大字角柄折字平と大字赤保内字西山の字の区域を変更するため。

▽**金山沢水郷館に係る指定管理者の指定について**

地区集会施設の指定管理者の指定について次のとおり可決されました。

指定管理者 金山沢行政区
指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日

▽**町道路線の認定及び廃止について**

町道8路線を認定及び7路線を廃止するため。

▽**青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について**
構成団体の減少により規約を変更するため。

**プレミアム付商品券事業費
5204万円減額
一般会計補正予算
2億87万円を減額補正**

▽元年度一般会計補正予算(第4号)
2億87万円を減額補正し、予算総額は59億2307万円。
歳入は、国庫支出金4705万円、繰入金1億5082万円、諸収入3779万円等を減額し、県支出金3524万円等を増額しました。
歳出は、総務費3306万円、民生費3743万円、土木費5970万円等を減額し、農林水産業費278万円等を増額しました。

▽元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
3349万円を減額補正し、予算総額は15億8432万円。
歳入は、県支出金1386万円、繰入金6896万円等を減額し、国民健康保険税4371万円、

諸収入560万円等を増額しました。
歳出は、総務費566万円、予備費2784万円等を減額しました。

▽元年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
40万円を減額補正し、予算総額は4430万円。
歳入は、繰入金37万円等を減額しました。
歳出は、総務費35万円等を減額しました。

▽元年度介護保険特別会計補正予算(第4号)
363万円を減額補正し、予算総額は13億4481万円。
歳入は、国庫支出金439万円、支払基金交付金642万円、県支出金240万円、繰入金322万円等を減額し、介護保険料1279万円等を増額しました。

▽元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
323万円を増額補正し、予算総額は1億2258万円。
歳入は、繰入金27万円を減額し、保険料350万円等を増額しました。
歳出は、総務費29万円等を減額し、後期高齢者医療広域連合納付金352万円等を増額しました。

歳出は、保険給付費2184万円、地域支援事業費215万円等を減額し、基金積立金2057万円を増額しました。

▽元年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
289万円を減額補正し、予算総額は3億2146万円。
歳入は、繰入金1009万円を減額し、分担金及び負担金666万円等を増額しました。
歳出は、施設管理費174万円等を減額しました。

令和元年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区 分	補 正 額	→	予 算 総 額
一般会計補正予算(第4号)	△2億 87万円	→	59億2,307万円
特別会計			
国民健康保険(第3号)	△ 3,349万円	→	15億8,432万円
漁業集落排水事業(第3号)	△ 40万円	→	4,430万円
介護保険(第4号)	△ 363万円	→	13億4,481万円
公共下水道事業(第3号)	△ 289万円	→	3億2,146万円
後期高齢者医療(第2号)	323万円	→	1億2,258万円

※金額は、すべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

一般質問 **ここ** が聞きたい

第1回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

- 下沢 育男 議員 6ページ
- 1 階上町農林業計画について
 - 2 英語教育及びプログラミング教育の取り組みについて

- 小松 雅彦 議員 7ページ
- 1 コミュニティバス・スクールバスの利用状況と経費削減について
 - 2 高齢者等へのバス運賃補助について
 - 3 子ども議会について

- 寅谷 正 議員 8ページ
- 1 階上町営の銭湯の設置について
 - 2 階上駅前地区人口の激減原因とその対策について
 - 3 階上町観光案内図について
 - 4 最短誘客通路の設置について
 - 5 令和元年度河川等水質調査結果について
 - 6 消防法に則した消火栓の設置について
 - 7 広報2月号での非耐震性建物の町民への競売供与について

階上町農林業計画について

〔町長〕大きく6つの基本計画に基づき実施している

問① 農業を取り巻く環境は、農地の減少、農業の担い手不足、安価な輸入農産物の影響による価格の低迷や食料自給率の低下などにより、厳しい状況である。

本町農業が抱える課題として取り組む階上町農林業計画の基本方針について、伺いたい。

答① 町長

農業計画は大きく6つの基本計画に基づき実施している。

①認定農業者及び新規就農者の確保・育成、また、集落営農や農業生産法人等の組織営農を推進していくための経営指導



下 沢 育 男 議員

農業次世代人材投資事業、青年就農者組織への活動支援。②優良農地の確保と耕作放棄地への対応、農作物の生産性と収益の向上を図るため、中間管理機構を利用した農地利用集積事業や中山間地域等直接支払交付金事業などの実施。③作物別の生産振興として、水田活用及び畑作物の直接支払交付金制度を利用した「経営所得安定対策事業」の実施、無人ヘリコプターによる「航空防除事業」などの実施。④町内で生産される農作物を通じた「食育の推進」や町の農業を周知するため「町民農園」の開設、町外から訪れた人も交流できる「農家民泊」、「そば打ち体験」や「農業体験事業」の実施、また、町主催の各行事での町内農産物のPR。⑤階上早生そばを

中心に、町で生産される農産物の品質向上を図り、首都圏への「食材PR事業」や、加工による農産物の「新商品開発の検討会」を実施。⑥民有林森林整備のための「公益保全林整備事業」や環境保全のための「伐採・下刈事業」及び「野生きのこの安全性実証事業」の実施、また、「緑化推進事業」の普及啓発活動。

本計画は来年度、5年目の見直しを行うこととしており、「第5次階上町総合振興計画」、農地所有者へのアンケート調査の内容も反映させながら、本計画の見直しを図ってまいりたい。

問② 認定農業者の中間管理機構を利用した農地利用集積状況、新規就農者への支援、観光産業と連携した農業振興について伺いたい。

答② 産業振興課長

認定農業者23名中18名が利用しており、集積面積は約150ha、そのうち5名の方が中間管理機構を活用し、約18haの農地利用集積を行っている。現在新規就農者は13名。人材投資事業は新規就農者に対して最大5年間150万円の給付金を支給する事業で、計7名の方が利用している。また、新規就農者組織「階上町青年就農ネットワーク」を設立し、意見交換会や町外研修等を行っている。

三陸復興国立公園内でもある観光4施設をフルに活用し、観光産業とも連携を図りながら広く階上町をPRし、農業振興に結び付けたい。

問③ 水稲のカメムシ等被害による防止策として、来年度以降の航空防除実施について伺いたい。

答③ 産業振興課長

農業者からの実施の要望が強く、令和2年度においても継続したい。

来年度から始まる新学習指導要領に伴い、英語教育及びプログラミング教育が小学校3年生から6年生まで、また、中学校でもプログラミング教育が始まる。全国では事前に取り組みを行っているところもあるが、本町の取り組みはどうか伺いたい。

問① 英語教育及びプログラミング教育の取り組みについて

〔教育長〕新学習指導要領に則った対応をしている

問① 来年度から始まる新学習指導要領に伴い、英語教育及びプログラミング教育が小学校3年生から6年生まで、また、中学校でもプログラミング教育が始まる。全国では事前に取り組みを行っているところもあるが、本町の取り組みはどうか伺いたい。

答① 教育長

英語教育について、今年度は新学習指導要領に基づき、外国語指導助手（ALT）と一緒に指導にあたり、全学年において外国語活動を実施している。

プログラミング教育について、小学校での取り組みは総合的な学習の時間において、年間数時間を全学年でコンピューターに親しむ時間として

設けており、中学校については、令和3年度から新学習指導要領が完全実施となるので、今後、小学校と同様に新学習指導要領に則った対応ができるように、ICT環境の整備も含めて検討する。

問② 現在のALTの人数、またICT関連の知識を有する支援をいただく考えはないか、ICT環境のハード整備について伺いたい。

答② 教育課長

現在ALTは2名である。今後、外部人材のICT支援員、また小中学校の現状を踏まえて事業費を含め、ICT環境整備について検討してまいりたい。

コミュニティバス・スクールバスの利用状況と経費削減について

〔町長〕 利便性の維持と経費の縮減を検討する

問① コミュニティバス・スクール

バスは、町民の足として大いに活躍していると思う。運行当初と同じ経路の平成28年度と直近の平成30年度の決算金額と利用状況を伺いたい。

答① 町長

委託料は28年度約2499万2千円、利用者は年間2万9951人。



小松雅彦 議員

30年度は約4006万9千円、利用者は年間3万88人。

路線の利用状況や各バス停での乗降者数の推移を見極め、利用者の声を聴きながら、利便性の維持と経費縮減を念頭に検討する。

問② 1日の平均乗客数は、28年度が約102人、30年度は88人と増便や日曜日運行を行ったにも関わらず、1日の利用者は減っている。その他にスクールバスの経費も計上されており、引き続き経費削減について今一度伺いたい。

答② 総合政策課長

コミュニティバス・スクールバスの役割と路線の課題を踏まえて、交通手段の再編及びトータルコストの削減を検討する。

高齢者等へのバス運賃補助について

〔町長〕 連携中枢都市圏内の状況を踏まえて検討する

問① 町では健康寿命延伸を掲げ事業を進めているが、高齢になるほど家に閉じこもりがちになると思う。娯楽や文化に親しむなど社会参加の促進と生きがい作りのために、お出かけしていただきたいと思う。八戸市へ出かける際のバス運賃は高く、病院への通院も大変だと思う。

また、近年は高齢ドライバーの事故が非常に多発しており、自家用車に代わる手段として公共バスを利用することにより、事故の抑止や、自動車免許返納の促進につながる高齢者等へのバス運賃補助について伺いたい。

答① 町長

八戸圏域8市町村を結ぶ路線の運賃は、上限520円と以前より低価格である。「高齢者バス特別乗車証」の拡充について検討したが、管内いずれの町村においても多額となることが見込まれ、町村の運行状況が異なることから困難と判断された経緯がある。町では、「ハート生き生き事業」等を利用する方には、福祉バスを週2回無料で運行し、閉じこもり予防事業を展開している。「ほのぼの交流会」でも、町内観光施設等を利用するための予算化をしている。高齢者等の方々への福祉向上とともに、圏内での状況を踏まえながら検討する。



階上町コミュニティバス

子ども議会について

〔教育長〕 町づくりに関心を持つ良い機会ととらえ検討する

問① 子ども議会は、児童生徒を対象にして行われる地方公共団体の模擬議会である。議会・行政の意義や仕組みを理解し、成人後責任ある国民として、権利や責務を正しく理解し、社会参加するための基礎教育になる。未来を創る子どもたちが、社会に関心を持ち、自分たちがより良い社会を創るために何ができるか考えるきっかけとなる。

40周年記念の令和2年度に子ども議会を実施出来ないか伺いたい。

答① 教育長

子ども議会は、未来を担う子どもたちが、階上町の町づくりに関心を持つ、良い機会ととらえている。また、議会・行政の意義や仕組みを理解し、将



来、責任ある国民・町民として社会参加するための基礎教育になるものと思っており、検討してまいります。

階上町営の銭湯の設置について

〔町長〕
地域活性化の中で検討したい

問① 現在の階上町は、銭湯のない自治体になっている。民営でのスタートは厳しいと思われるので、まずは町営で出発し、後で民間に経営を譲るなどできないか町の考えを伺いたい。

答① 町長

事例にあげた施設は町営ではない。町内に長く滞在してもらえようように観光消費の増加や地場産業の振興、色んな地域の購買意欲も含めて、地域の活性化につなげていきたいと考えているので、その中で検討してまいりたい。

階上駅前地区人口の激減原因とその対策について

〔町長〕
駅前が特段減少している訳ではない

問① 駅前地区の人口は、他地区に比べてどれほど減少が激しいとらえているのかデータを示してほしい。

答① 町長

駅前地区における人口データは、昭和51年10月の1120人をピークにして、その後徐々に減少し、令和元年12月末現在では、577人に減少している。他の地区との状況を5年間の減少率で比較すると、駅前地区の減少率はマイナス6.4%で、19行政区のうち13番目に減少率が低い地区となっており、駅前が特段減少しているとは言いにくい状況にある。

人口減少の原因は、駅前地区に限らず、少子高齢化による自然動態による減少と、転出超過による社会動態による減少が原因と認識している。駅前地区においては、町で取り組んでいる移住定住事業の効果がみられ、ここ1年では社会動態の人口は増加している。

〔町長〕
現在のところ変更は考えていない

問① 駅前設置されている「観光案内図」は、階上岳方面に向かつて書かれており、初めて訪れた方には、180度回転の地図で、「北側が小舟渡方面で、南側が大蛇方面」と理解しにくい。太平洋側に向かつての設置が南側への設置になると現実と合うので、変更することが可能か伺いたい。

答① 町長

現在の案内図は、平成25年度にリニューアルを行ったもので、一般地図と同様に北を上として作成している。設置場所についても駅舎を出るとすぐ目に止まる、JR東日本の鉄道用地を無償で借りている場所に設置されている。

係自治体全体でPRを行っていているため、最短コースだけでなく、周りを見ながらゆっくり歩いてもらえるルートを推奨してまいりたい。

〔町長〕
データ検証、追跡調査を行い合併処理浄化槽の設置を推進する

問① 小白浜水路等のBOD、大腸菌群数が高いが、どのような対策を町として考えているか、また小白浜水路出口の泡立ちの原因について伺いたい。

答① 町長

小白浜地区排水処理施設を作るべきと思うが、町の見解を伺いたい。
※BOD…有機物による水の汚れの度合いを示すもの。

くことが大事であるので、生活環境に関心を持っていただくよう周知し、小学生へも出前講座を予定している。

〔町長〕
一言申し上げさせていだきたい。一般質問のあり方を考察されたい。通告内容を当日変更されると正確な答弁ができないので、議会で事前によく精査され、建設的な質疑とされたい。

問① 過去のデータの検証・追跡調査を行い、合併浄化槽の設置を推進する。各家庭の排水処理改善の必要性を認識していただ

答① 町長

その他の質問
・「消防火栓の設置について」及び「広報2月号での非耐震性建物の町民への競売供与について」は、紙面の関係上掲載を省略



議員 正 谷 寅

質疑あれこれ

第1回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

条例の一部改正

寅谷 正議員

◆階上町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 支援員の経過措置期間を1年間延長する改正だが、本町の実情は。賃金の状況は。

答 健康福祉課長 4保育園で放課後児童健全育成事業を実施しており、支援員は2名体制で1名が欠けると満たさないため、みなし基準を設けながら運営したい。賃金は町で定めているものではなく、県の研修を3日ほど受けた方はみなし支援員として認定される。

元年度一般会計補正予算

大江和夫議員

◆プレミアム付商品券事業費補助金

問 総予算の33%の実績だが、対象者と内容は。

答 健康福祉課長 住民税非課税者2857人のうち申請者950人で33.2%。0歳から3歳児までの子育て世帯が254人で、引換券を基に商品券を購入した方は合わせて913人である。



荒谷憲輝議員

◆河川等災害復旧費

問 約1千万円減額の理由は。

また、私有地の所有者への対応と説明、二次災害等の対策、復旧への見通しは。

答 建設課長 台風19号により被災した道仏集会所付近の道仏川、ほか4か所の公共土木施設災害復旧費を実施設計等した結果、減額するもの。

また、調査等で現場を訪れた際に所有者の方へ復旧等に係る情報を提供し、道路の排水対策、転落防止等対策を行っている。復旧の見通しについては、先日落札業者が決定した。

長根岩夫議員

◆スポーツ推進委員報酬

問 委員の役割、人員配置、選任方法、報酬額は。

答 教育課長 事業に係る連絡調整や実技の指導助言を行う。現在8名を配置しており、地域性を考慮し各地区からスポーツに関心と理解を有する方を委嘱し、任期は2年間である。報酬は、会長日額5700円、委員日額5300円である。



スポーツ推進委員主催のソフトバレーボール大会

◆階上中学校グラウンド照明改修工事設計委託料

料

問 設計委託料が減額となっているが、工事の実施状況と道仏中学校への同規模の照明設置の考えは。

答 教育課長 工事状況は、昨年10月7日に契約を締結、今年3月20日までの工期で工事は終了しており、入札等が理由での減額補正は専決でした。

道仏中学校への照明器具の設置は、町全体の施設利用状況の推移で検討したい。



階上中学校グラウンド照明

2年度一般会計予算

森 榮吉議員

◆あおもり産野生きのこ安全性実証事業費

問 階上野生きのこの放射性物質濃度が基準値を超えていると解釈するが、その認識は。

出荷規制による損害の程度、規制が全面解除になる見通しは。

答 産業振興課長 ナラタケ、クリタケの2種類のみが規制解除されており、ほかの種類においても分析を行っている。町内において野生きのこを販売している業者、個人はない。出荷制限解除には①種類ごとに60検体以上採取・検査を行うこと、②基準値100ベクレルの半分以下であることの2つの条件を満たすことが必要である。

寅谷 正議員

長根岩夫議員

◆小中学校エアコン整備

問 庁舎にエアコンを設置するということだが、小中学校に設置する考えは。

答 教育課長 学校からも要望を受けており、今後も引き続き整備について検討していく。

◆会計年度任用職員

問 各種手当、共済組合への加入の有無、公務災害補償の対象となるのか。

答 総務課長 フルタイム会計年度任用職員の支給手当は、通勤、時間外、期末、退職手当で住居、扶養手当の支給はしない。7時間45分勤務が18日以上ある月が12月を超える会計年度任用職員は、2年目以降共済組合加入が可能となり、公務災害補償の対象となる。

179万円。

職種は、事務補助員、保育士、道仏公民館業務補助員、学習支援員、生活支援員、理科観察実験アシスタント、町史編集事務補助員等。

◆トレイルコース維持工事

問 350万円の施工場所と内容、進捗状況は。

答 産業振興課長 台風19号で被害のあったしるし平トイレ及び寺下観音付近ののり面復旧、町営放牧場監視塔付近の砂利復旧を行うもの。早期改善に努めたい。

◆都市計画マスタープラン策定委託料

問 委託内容は。

答 建設課長 今年度居住環境や町の魅力などのアンケート調査と主要課題の整理等を行っており、令和2年度については、前年度の課題等から都市づくりの理念や将来像の検討を行う。

◆立地適正化計画策定委託料

問 委託業務の成果を今後どのように活用していくのか。

答 建設課長 マスタープランを具体化し、将来持続可能な街づくり計画を作成し、都市機能を誘導するための施策の推進を図る。

問 補助等はあるのか、今後の対応は。

答 産業振興課長 計画全体の見直しを実施し、適合性を図るため、令和2年度は農用地等の面積、土地利用、就農人口の規模、農業生産等に関する現況及び将来の見通しなど計画に関する基礎調査を行い、令和3年度は基礎調査を反映させた農業振興地域整備計画書、農振農用地除外及び編入確認用図面等を作成する。委託先は町の競争入札参加資格を有する者の中から選定し、委託したい。

下沢育男議員

◆合併処理浄化槽設置費

問 昨年度の約55%の実績減少結果と次年度の方策は。

答 建設課長 令和元年度は平成26年から5か年の生活排水基本計画の最終年度であり、国の補助金確定作業等で申請期間が短く基数が少なくなったもの。

問 調査箇所、調査内容、委託先は。

答 建設課長 道仏地区の耳ヶ吠・榊線の老朽化対策として、路面診断、地質調査等の保全計画を作成する。適正な業者を入札で選定し、今後は県が事業主体となり国の補助金や町の負担金で対策を講じる予定である。

◆農業振興地域整備計画策定委託料

問 委託目的と委託先は。

答 産業振興課長 計画全体の見直しを実施し、適合性を図るため、令和2年度は農用地等の面積、土地利用、就農人口の規模、農業生産等に関する現況及び将来の見通しなど計画に関する基礎調査を行い、令和3年度は基礎調査を反映させた農業振興地域整備計画書、農振農用地除外及び編入確認用図面等を作成する。委託先は町の競争入札参加資格を有する者の中から選定し、委託したい。

礎調査を反映させた農業振興地域整備計画書、農振農用地除外及び編入確認用図面等を作成する。

問 調査箇所、調査内容、委託先は。

答 建設課長 道仏地区の耳ヶ吠・榊線の老朽化対策として、路面診断、地質調査等の保全計画を作成する。適正な業者を入札で選定し、今後は県が事業主体となり国の補助金や町の負担金で対策を講じる予定である。

◆農道調査委託料

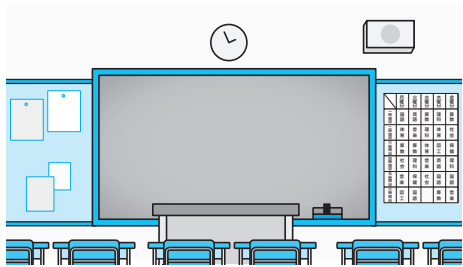
問 調査箇所、調査内容、委託先は。

答 建設課長 道仏地区の耳ヶ吠・榊線の老朽化対策として、路面診断、地質調査等の保全計画を作成する。適正な業者を入札で選定し、今後は県が事業主体となり国の補助金や町の負担金で対策を講じる予定である。

◆階上町ふるさと定住促進補助金

問 補助対象の要件と奨学金の貸与者数、補助対象者数は。

答 教育課長 町奨学金の貸与を受け進学をし、卒業後本町に居住し、1年間に償還した金額の2分の1の額を翌年度に補



年次休暇日数は、20日で2年目以降の加算は20日を限度として翌年度繰り越し。費用負担は約1.2倍の1180万円で期末手当支給経費等は地方交付税の算定対象である。システム改修費用は、約



助するもの。
貸与者数は213名で、うち対象者数は令和2年度73人を見込んでいる。

荒谷憲輝 議員

◆統計諸費

問 統計調査員の人数と人選等の考え方は。

また、工業統計調査の対象事業者数と登録制度による登録者数、調査が困難な方への対応、調査期間、事故発生時の補償は。

答 総合政策課長 国勢調査67名、工業統計調査2名、学校基本調査は、教育課職員が取りまとめ、海面漁業月別漁獲数量調査1名で、統計調査員登録制度実施要綱に基づき人選している。

また、対象事業者数は22社で登録者数は28名。調査が困難な方への対応は、調査員より町に連絡をもらい、町から対象者へお願いや近所の方から最低限の必要項目を聞き

取りしている。調査員の方には8月末から10月末まで業務をお願いし、公務災害補償が適用される。

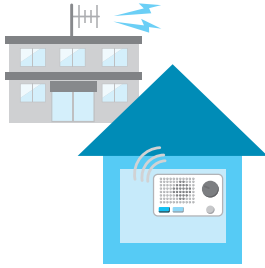
◆備品購入費

問 581万5千円の目的と内訳は。

また、防災無線戸別受信機使用戸数と交換時の自己負担の有無、故障等の原因は。

答 総務課長 受信機100機購入費用352万円、消防団の携帯無線機7機購入費用229万5千円を予算計上。

また、設置数は405戸で自己負担はない。原因は経年劣化と考えられ、耐用年数は8年で毎年10件ほど交換している。



◆私道整備等特別対策事業補助金

問 98万1千円の目的と場所は。

また、補助金計上までの経緯、設計・工事等への関与、排水対策は。

答 建設課長 生活環境の向上、コミュニティの推進を図る目的として私道の整備・補修工事に補助金を交付しており、神山町営住宅付近、道仏交流センターの通りから南側に入った道路を整備予定。

経緯は、区長等が取りまとめて申請し、町で審査・決定後補助金を交付している。排水対策については道路整備と一体であれば補助対象である。

◆公園管理費

問 アスナ公園、ふるさと河川公園遊具撤去工事費約230万円の理由は。

アスナ公園、ふるさと河川公園、つくしヶ丘団地公園の新遊具新設の考えは。

◆建設課長 遊具の安全点検委託の結果、老朽化が激しく撤去すること

で予算計上したものを。また、各施設の利用状況等を考慮し、必要な遊具を検討したい。

大江和夫 議員

◆ふるさと納税

問 大幅な増額見込みの根拠と返礼品の要件は。

答 総合政策課長 平成30年度より納税ポータルサイトの活用で、寄付件数の金額が伸び、令和元年度3月6日時点で前年度の約1.8倍となり、令和2年度からポータルサイトを2社体制で受付予定のため増額を見込んでいる。

返礼品は国の「ふるさと納税指定制度」において基準が3割以下、地場産品などと定められ、この要件を満たす範囲内で寄付額区分に応じ、17品目を返礼品としている。

◆区長報酬金

問 町三役、議員報酬も見直される中での区長報酬金の考えは。

答 総務課長 令和2年度の第6次階上町行財政改革で、行政委員としての活動を整理し、近隣市町村の調査、業務の見直し、社会情勢の変化も踏まえ検討する。

2年度漁業集落排水特別会計・公共下水道事業特別会計予算

寅谷 正 議員

◆公共下水道・漁業集落排水について

問 公共下水道事業と漁業集落排水の予算を伺う。

答 建設課長 公共下水道は、現在蒼前地区、石鉢、野場中行政区を実施しており、事業区域の69%が整備されている。漁業集落は、漁業集落排水区域の中の方が利用されており、小白浜区域は予算計上されていない。

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	2月25日	行政区長会活動報告会並びに解散会	4,000円

議会活動

2月

- 10日 郡議長会役員会
- 19日 郡議長会定期総会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 田子町交通死亡事故ゼロ2290日達成記念式典及び青森県警察音楽隊コンサート
- 25日 区長会活動報告並びに解散会
- 26日 第70回県議長会定期総会
- 27日 第2回町交通安全対策協議会
- 27日 町表彰審議会



3日 はしかみ健康フォーラム

3月

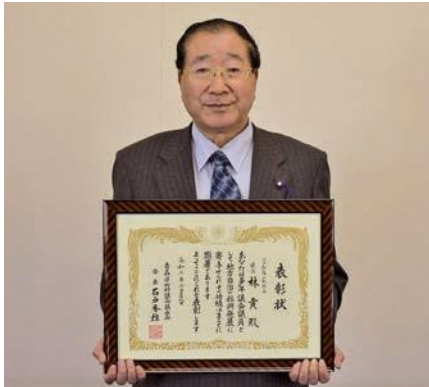
- 4日 第1回定例会本会議
- 4日 議員全員協議会
- 6日 第1回定例会本会議
- 9日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 10日 第1回定例会本会議
- 10日 議会基本条例制定準備委員会
- 11日 第1回定例会本会議
- 12日 八戸警察署階上交番新築落成式
- 18日 はしかみ産業振興委員会・役員会
- 24日 町防犯協会役員会
- 24日 町消防団長就任式
- 25日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 26日 町観光協会写真コンテスト

4月

- 1日 辞令交付式
- 2日 町観光協会役員会
- 3日 春の全国交通安全運動に係る町街頭広報活動
- 3日 町交通事故抑止祈願祭

自治功労者表彰

◆令和2年2月26日、青森市において「県町村議会議長会第70回定期総会」が開催され、林議長が議員11年以上在職で表彰を受けました。



林 貢 議長

(平成19年4月30日～平成25年12月10日)
(平成27年4月30日～現在)

- 3日 町防犯協会定期総会
- 3日 議会だより編集委員会
- 9日 議会だより編集委員会
- 10日 階上岳山開き安全祈願祭
- 15日 議会だより編集委員会
- 20日 はしかみ産業振興委員会役員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 27日 県議長会監事会



議会だより編集委員会

◆今月号の編集委員(3人)

- ・百目木和俊議員(教育民主)
- ・小松 雅彦議員(産業建設)
- ・荒谷 憲輝議員(総務財政)



編集後記

3月定例会において、新年度予算が決まり新たにスタートしました。全員協議会、本会議では活発な質疑が行われました。議会中は新型コロナウイルス対策により、傍聴者の皆様にご迷惑をおかけしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。(百目木、小松、荒谷)

議会傍聴者数(延べ人数)

- ・第1回定例会(令和2年3月)
- 3月4日(4人)
- 3月6日(8人)
- 3月10日(5人)
- 3月11日(5人)

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。(傍聴者席は、26席です(記者席含む)。)